企業・団体名（　山梨ワイナリー協会　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・協会員6割以上の企業で「就業規則」が整備されています。 ・引続き、整備状況の向上に努めてまいります。 ・会員企業すべてにおいて、福利厚生制度、人事制度において差別等が無いことを確認済みです。					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・就業規則はありませんが、ハラスメント防止に取り組んでいる企業は約４３％あります。 ・協会員のうち就業規則に、セクハラ、パワハラが明記されている企業は約３６％です。					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・勤怠管理にシステム導入を行っている企業は約６８％あります。 ・各社ともに長時間労働防止に力を入れており、約６１％の企業で対策を行っています。								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・外国人労働者を雇用している会員企業は僅かですが、多くの会員企業において、外国人労働者雇用を行った際には経営者が強い意識を持って差別の禁止等を推進しています。				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・会員企業各社において、誰が安全管理者、衛星推進者になっているか明確となっている先は約68%となっています。			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・メンタルヘルスに関する方針や計画を打ち出している会員は約２９％であり、今後、取組みを強化していく必要があると認識しています。			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・女性社員の増加に向けた取組みを行っている会員の割合は約２９％あります。 ・産休、育休、会議に関する休暇や時短勤務の制度が整っている先の割合は４３％です。 ・協会として更なる取組み強化を図る項目と認識しています。					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会				○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済					○				○	○								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済									○		○							
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・廃棄物を廃棄せずリサイクルに向けた取組みを実施している会員の割合は、約８２％と高い水準で取組みが進んでいます。											○	○		○			

12	環境	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・会員のうちLED照明、HVやEV自動車を導入している先は７５％と高い水準となっています。 ・各社ともにエネルギー量の把握とともに、削減に向けた取組みを加速していきます。						○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・自社の排出量を把握出来ているは先は、約１４％と低位となっています。 ・各社が把握を行い、削減に取組めるよう協会として体制構築を検討していきます。						○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・協会員のうち、何らかの取組みが出来ている先は約８５％となります。中でも代替品の利用などまで行っている先は約１８％です。この割合を高めるように活動を進めていきます。			○		○					○	○					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・約６０％の会員において環境に配慮した資材、製品、サービスの提供を行っています。 ・各社において、今後も高い意識を持ち、対応する割合を高めて行きます。					○									○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境						○											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○		○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境												○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境							○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境												○	○	○	○		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境						○					○	○	○	○	○		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・多くの会員において、朝礼等を活用して周知を図るほか、コンプライアンス研修や社外研修への参加を行っています。また、不祥事が発生した際の手順等が明確化されています。															○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・汚職、贈収賄防止と同様に、朝礼等を活用し、周知徹底を行っている先が大半です。 ・定期的な面談の実施など、各社の状況に合わせた取組みを行っています。															○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・各社ともに製造方法やノウハウ等が会社の財産であることを認識しています。 ・社内の情報の取扱方法についても、意識が高まってきており、勉強会等の実施を行っています。							○	○								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・意識が高まり始めており、メール、FAX、郵送物の誤送信対策や研修などの対応を始める会員企業が増加しています。															○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																○	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会	・SDGｓの取組みに関して、協会員の指針を策定すべく、協会としての「SDGｓ宣言書」の策定を行い、組合員の意識醸成を図っています。					○			○		○		○	○	○	○	○	○
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・会員企業の約５４％超において、製品サービスで想定されるリスク等の洗い出しが完了しています。			○								○					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・会員企業の約６４％において、品質を保証する仕組みなどを構築しています。 ・各社において補償内容等の充実に向け、更なる取組みを行ってまいります。								○								
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境						○						○	○	○	○		

31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・会員企業各社において、約５４％超の企業が地域への影響等を把握しています。 ・今後も、この割合を高めるために、協会として社会、地域への貢献活動を進めてまいります。				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会					○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済									○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・就業規則等にコンプライアンスに関する記載がある企業は約４０％となっています。 ・その他の企業においても、朝、夕礼での徹底や、社内勉強会の実施などにより、知識の醸成に努めています。																○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営理念や経営目標などを社内で共有できている協会員は約６１％となります。 ・今後は各社でもSDGｓ宣言を策定し、取組内容等の共有を進めてまいります。								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会																○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会																○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済																○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会																○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会																○	○
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済										○		○		○			○	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済									○	○								○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17